

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

津波防災の日（世界津波の日）

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

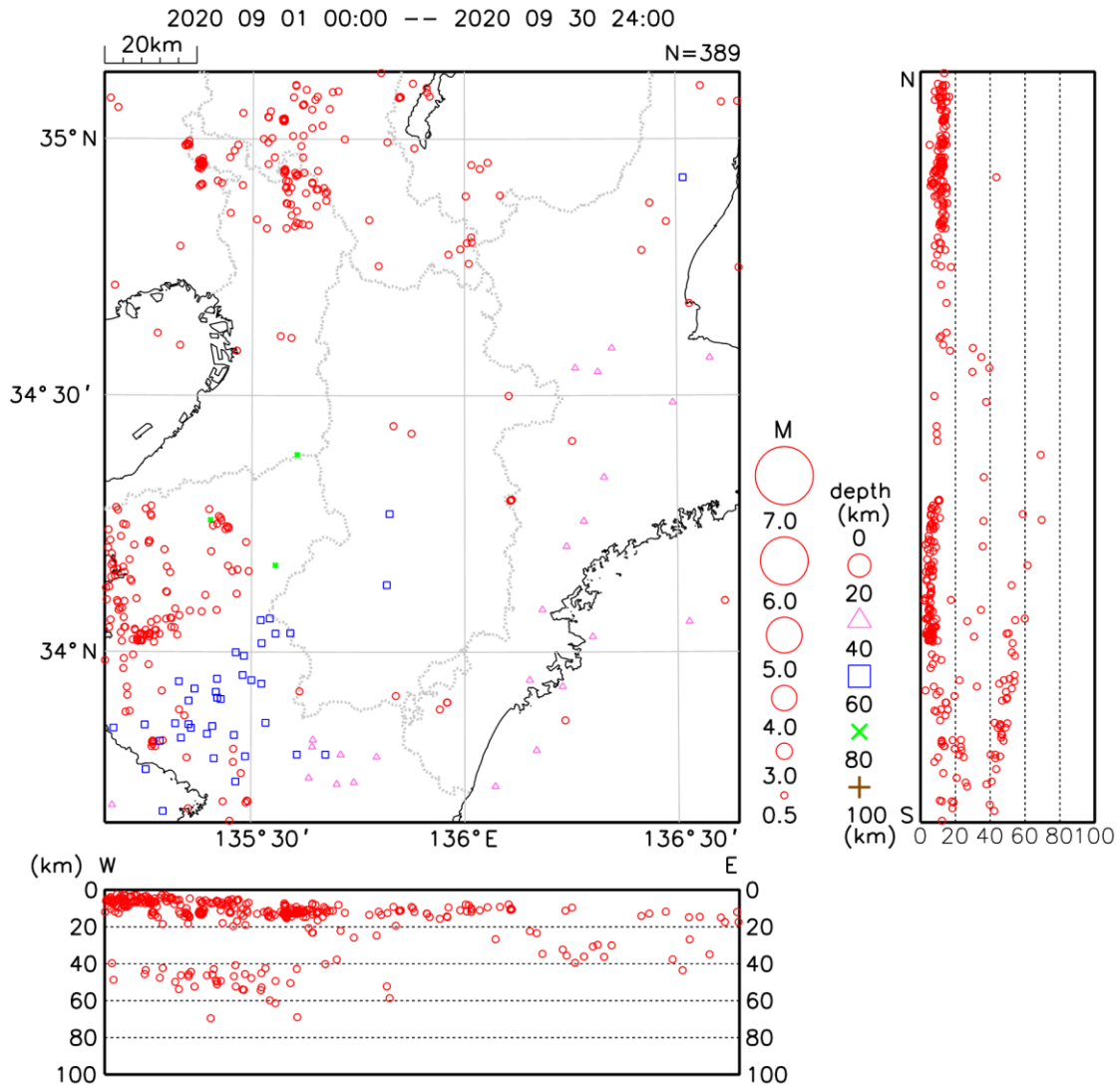
※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2020年9月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

4日9時10分 福井県嶺北の地震(深さ7km、M5.0:地図範囲外)により、奈良県内では奈良市・大和郡山市・天理市・桜井市・宇陀市・田原本町・高取町・広陵町で震度1を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿・中国地方にかけて震度5弱～1を観測しました。

27日13時13分 静岡県西部の地震(深さ45km、M5.1:地図範囲外)により、奈良県内では奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市・宇陀市・川西町・田原本町・高取町で震度1を観測したほか、関東・東海・甲信越・北陸・近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。

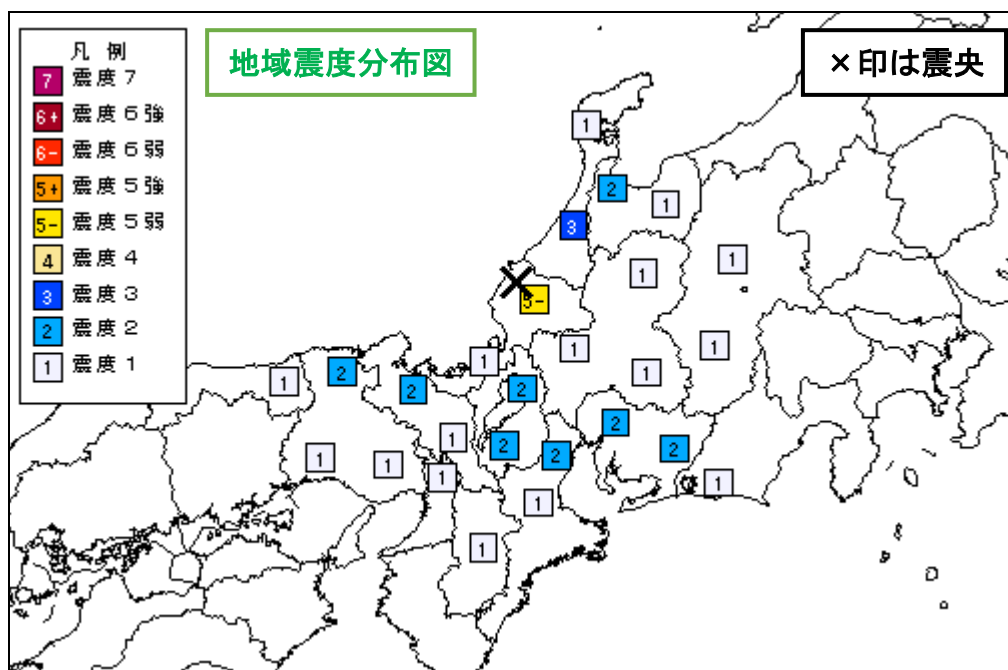
【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度(奈良県内のみ記載)					
2020年09月04日09時10分	福井県嶺北	36° 06.9' N	136° 11.3' E	7km	M5.0
震度 1 : 奈良市西紀寺町, 奈良市二条大路南*, 大和郡山市北郡山町*, 天理市川原城町*, 桜井市粟殿*, 田原本町役場*, 高取町観覚寺*, 広陵町南郷*, 宇陀市大宇陀迫間*					
2020年09月27日13時13分	静岡県西部	35° 04.8' N	137° 47.1' E	45km	M5.1
震度 1 : 奈良市西紀寺町, 大和高田市大中*, 大和郡山市北郡山町*, 天理市川原城町*, 橿原市八木町*, 桜井市粟殿*, 御所市役所*, 川西町結崎*, 田原本町役場*, 高取町観覚寺*, 宇陀市大宇陀迫間*					

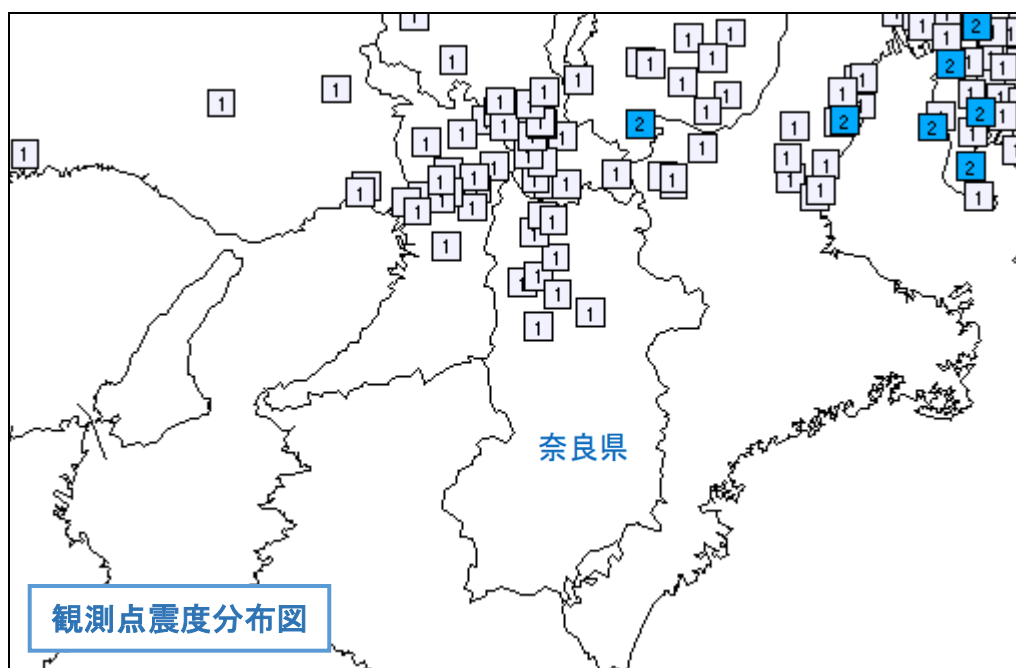
*印は地方公共団体等の震度観測点です。

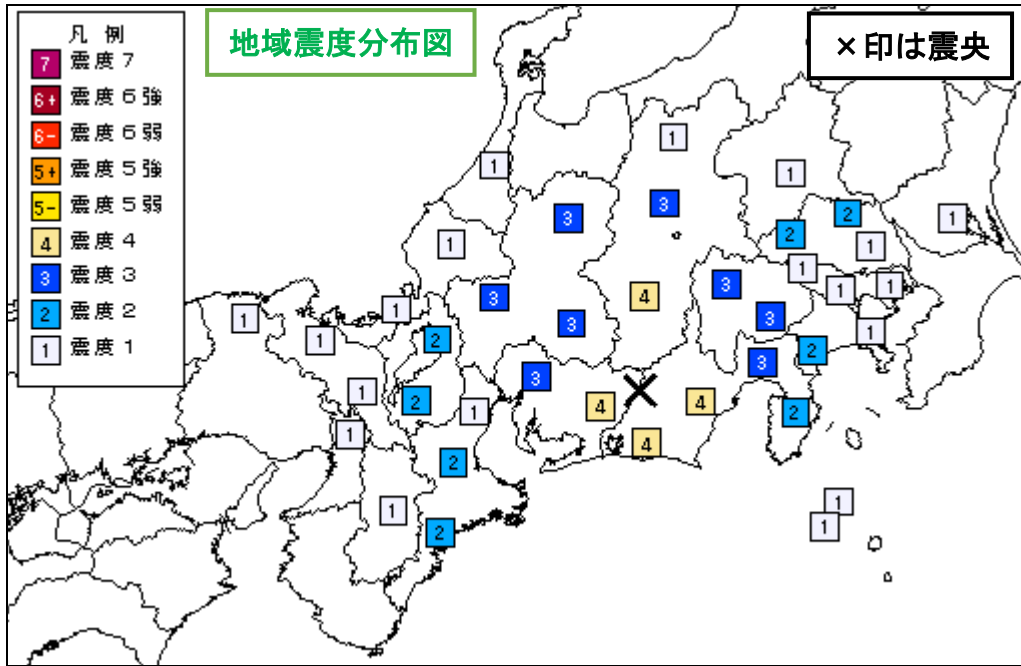
【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

2020年09月04日09時10分 福井県嶺北 36°06.9'N 136°11.3'E 7km M5.0

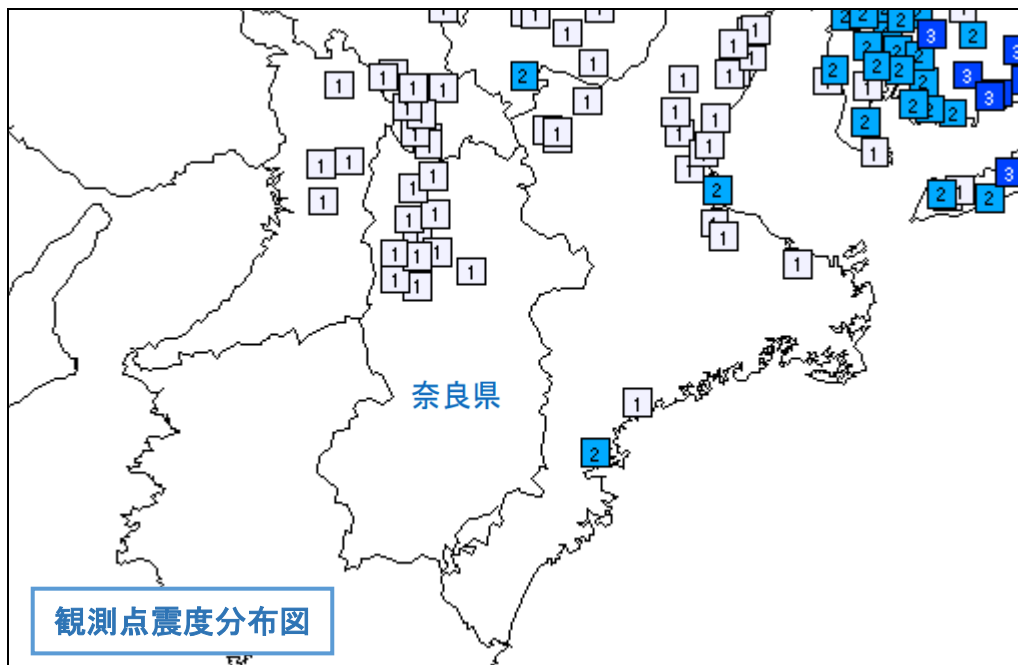


奈良県付近を拡大





奈良県付近を拡大



【地震一口メモ】

～津波防災の日（世界津波の日）～

11月5日は『津波防災の日（世界津波の日）』です。

『津波防災の日』は、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓とし、平成23年に「津波対策の推進に関する法律」により制定されました。この日の由来は、嘉永7年（1854年）11月5日に発生した安政南海地震（M8.4）による津波が、紀州広村（現在の和歌山県広川町）を襲った際に、稲に火を付け、村人たちを高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。この逸話に登場する「五兵衛」は「濱口梧陵」をモデルにしており、濱口梧陵は、被災後の村の復旧復興にも尽力したことで知られています。

『世界津波の日“World Tsunami Awareness Day”』は、2015年の国連総会において、日本をはじめとする142カ国の共同提案により制定されました。この決議により、津波の脅威への関心の高まりや津波対策が世界的に進むことが期待されます。

この日及び前後の期間（11月3日～11月8日の6日間）には、地震津波に関するイベントや防災訓練が全国各地で予定されています。全国的な訓練として、11月5日に「令和2年度第2回緊急地震速報訓練」が実施されます。奈良県内においても、全国瞬時警報システム（Jアラート）や緊急地震速報受信端末設置機関では、シェイクアウト訓練等が実施可能ですので積極的な参加をお願いします。

11月5日（木）は
緊急地震速報の訓練に
参加しましょう！

・緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに身を守る行動ができるようにしましょう。

・令和2年11月5日（木）10時00分頃に、訓練に参加する地方公共団体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティFM等を除く）

・普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去4年間程度分掲載しています。
URL : <https://www.jma-net.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

